

高病原性鳥インフルエンザの発生状況

国立感染症研究所

2018年6月14日現在

高病原性鳥インフルエンザについて、2017年4月以降のトリとヒトの事例の国内外の発生状況を中心に、以下に更新情報をまとめる。なお、鳥インフルエンザ A (H7N9) については、別資料「鳥インフルエンザ A (H7N9) ウイルスによる感染事例に関するリスクアセスメントと対応 (2018年6月14日更新)」を参照。

高病原性鳥インフルエンザ A(H5N1)

世界のトリでの発生状況

(FAO HP: <http://empres-i.fao.org/eipws3g/> および農林水産省 HP: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/> に基づく) :

高病原性鳥インフルエンザ A (H5N1) ウイルスは 2003 年以降、東南アジアを中心に、中東・アフリカの一部地域などで検出されていた。

2017 年 4 月から 2018 年 6 月 7 日までの期間に FAO に報告されたトリでのアウトブレイクは、13 か国から 186 件 (2018 年 6 月 12 日現在。内訳は、上記 URL 参照) である。

日本のトリでの発生状況

(環境省 HP: http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/ および農林水産省 HP: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/> に基づく) :

2011 年 4 月以降、日本では、家禽および野鳥のいずれからも高病原性鳥インフルエンザ A (H5N1) ウイルスは検出されていない (2018 年 6 月 12 日現在)。

世界のヒトでの発生状況

(WHO HP: http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/en/ および ECDC HP: <https://ecdc.europa.eu/en/avian-influenza-humans> に基づく)

鳥インフルエンザ A (H5N1) ウイルスでヒトへの感染が報告されている症例は、2003 年に初発例が確認されて以降、2018 年 3 月 1 日現在までに 16 か国から計 860 例 (うち死亡 454 例) であった。2014 ~ 2015 年のエジプトにおける流行の後、報告数は激減し、WHO へ 2017 年 2 月以降報告されているヒトへの感染例はインドネシアおよびエジプトから計 4 例 (うち死亡 2 例) (図) だった。

Figure 1: Epidemiological curve of avian influenza A(H5N1) cases in humans by week of onset, 2003-2017

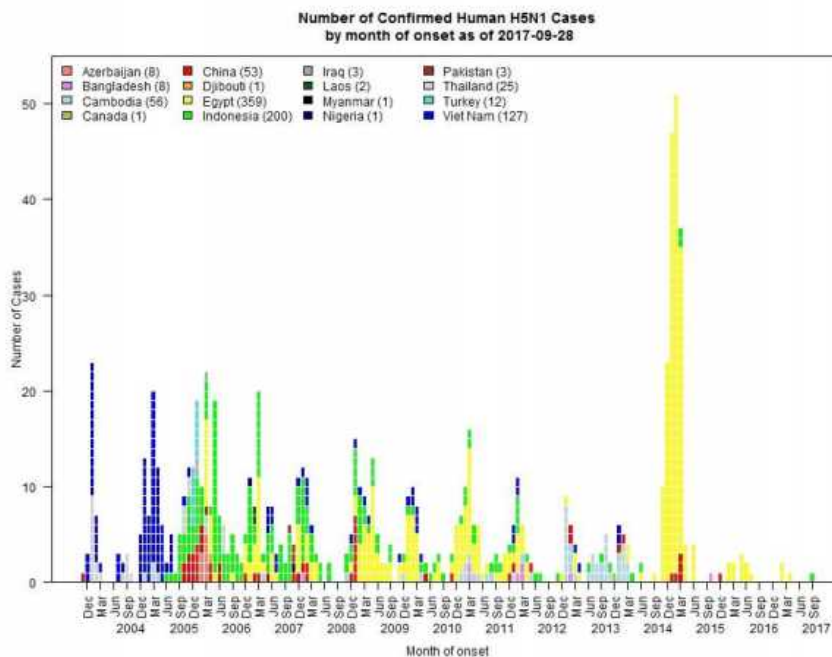


図 高病原性鳥インフルエンザ A(H5N1)ウイルスのヒトでの発生状況

(http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/Influenza_Summary_IRA_HA_interface_09_27_2017.pdf?ua=1)

高病原性鳥インフルエンザ A(H5N2)

世界のトリでの発生状況

(FAO HP: http://www.fao.org/AG/AGAINFO/PROGRAMMES/EN/empres/H5N8/situation_update.htm および 農林水産省 HP: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/> に基づく) :

2017年4月以降2018年6月7日までの期間にFAOに報告されたトリでのアウトブレイクは、2か国から154件(2018年6月12日現在。内訳は、上記URL参照)報告されている。

日本のトリでの発生状況

(環境省 HP: http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/ および 農林水産省 HP: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/> に基づく) :

現在のところ、家禽および野鳥のいずれからも高病原性鳥インフルエンザ A (H5N2) ウイルスは検出されていない。

世界のヒトでの発生状況

過去にトリの高病原性鳥インフルエンザ A (H5N2) ウイルスのアウトブレイクに対応した者に抗体価の上昇を認めた事例は存在する^{1),2)}が、現在までのところ、ヒトの発症した感染例は報告がない。

1) Tsuyoshi Ogata, et al. J Epidemiol 2008; 18(4) 160-166

2) Wu H, et al. Emerg Infect Dis. 2014;20(5):857-860.

高病原性鳥インフルエンザ A(H5N6)

世界のトリでの発生状況

(FAO HP: <http://empres-i.fao.org/eipws3g/> および農林水産省 HP: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/> に基づく):

低病原性鳥インフルエンザ A (H5N6) ウイルスは 1975 年以降、広い地域で検出されていたが、高病原性鳥インフルエンザ A (H5N6) ウイルスの家禽での最初の発生は 2014 年であり、中国から報告された。2017 年 4 月から 2018 年 6 月 7 日までの期間に FAO に報告されたトリでのアウトブレイクは、15 か国から 188 件 (2018 年 6 月 12 日現在。内訳は、上記 URL 参照) である。

日本のトリでの発生状況

(環境省 HP: http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/ および農林水産省 HP: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/> に基づく):

2017年11月以降、2018年4月12日の期間に報告のあった高病原性インフルエンザA (H5N6) ウイルス陽性となったトリの事例は、家禽においては2018年1月に確認された香川県の養鶏農場における1件のみであったが、野鳥については3都県46件が確認されている (内訳は、上記URL 参照)。

世界のヒトでの発生状況:

(WHO HP: http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/en/ および FAO HP: http://www.fao.org/AG/AGAINFO/PROGRAMMES/EN/empres/H5N8/situation_update.html に基づく)

鳥インフルエンザ A (H5N6) ウイルスでヒトへの感染が報告されている症例は下記の表の通りである。2014 年 5 月に初発例が確認され以後、2018 年 6 月 7 日現在までに計 19 例 (うち死亡 11 例) の報告があり、すべて中国からである。年齢中央値は 38.5 歳 (範囲 3~65 歳)、男性 8 例、女性 10 例だった (詳細不明の 1 例を除く)。19 例中 15 例に鳥との接触を認めている。ヒト-ヒト感染の報告はない。また、これまでタミフル耐性になるような変異は確認されていない。

No	報告年月	報告国(行政区)	年齢	性別	発症日	トリとの接触歴	転帰	情報源*
1	2014	中国 湖南省 長沙市	-	-	-	-	-	WHO/FAO
2	2014 5月	中国 四川省 南充市	49	男	2014	死んだ家禽	死亡	WHO
3	2014 12月	中国 広東省 広州市	58	男	2014/12/4	家禽	重症	WHO
4	2015 2月	中国 雲南省 デチェン・チベット族自治州	44	男	2015/1/27	死んだ野鳥	死亡	WHO
5	2015 7月	中国 雲南省 デチェン・チベット族自治州	37	女	2015/7/6		死亡	WHO
6	2016 1月	中国 広東省 揭陽市	42	男	2015/12/12	生鳥市場	死亡	WHO
7	2016 1月	中国 広東省 肇慶市	40	女	2015/12/22	生鳥市場	重症→死亡*	WHO/Emerging Infectious Diseases 22, 8 August 2016
8	2016 1月	中国 広東省 深圳市	26	女	2015/12/24	家禽の肉を扱った	死亡	WHO
9	2016 1月	中国 広東省 深圳市	25	男	2016/1/1	生鳥市場	死亡	WHO
10	2016 1月	中国 広東省 深圳市	31	女	2016/1/8		重症	WHO
11	2016 3月	中国 広東省 惠州市	40	女	2016/2/20	生鳥市場	重症→死亡*	WHO/Hong Kong Centre for Health Protection
12	2016 5月	中国 湖北省 神農架林区	35	男	2016/4/9	生鳥市場	軽快	WHO
13	2016 5月	中国 湖南省 株洲市	11	女	2016/4/11	家禽	軽快	WHO
14	2016 5月	中国 安徽省 宣城市	65	女	2016/4/24	家禽	重症	WHO
15	2016 7月	中国 湖南省 湘西トゥチャ族ミャオ族自治州	50	男	2016/5/23		重症→死亡*	WHO/Health and Family Planning Commission of Hunan Province
16	2016 11月	中国 湖南省 邵陽市	47	女	2016/11/18	死んだ家禽*	重症→死亡*	WHO/Hunan provincial Center for Disease Control and Prevention
17	2016 12月	中国 広西チワン族自治区	30	女	2016/11/8	死んだ家禽	重症	WHO
18	2017 11月	中国 広西チワン族自治区	33	男	2017/11/7	家禽	死亡	WHO
19	2017 12月	中国 福建省 三明市	3	女	2017/12/19	家禽	軽快	WHO

表 高病原性鳥インフルエンザA (H5N6) ウイルスのヒトへの感染例 n=19、2014～2018年(6月12日現在)

*WHO 本部および WHO 西太平洋地域事務局の情報に加え、他の国際機関および政府系公式情報源より得られた情報を含む

高病原性鳥インフルエンザ A(H5N8)

世界のトリでの発生状況

(FAO HP: http://www.fao.org/AG/AGINFO/PROGRAMMES/EN/empres/H5N8/situation_update.html に基づく) : 2017年4月以降2018年6月7日現在、28か国から552件(2018年6月12日現在。内訳は、上記URL参照)から報告されている。韓国については2017年11月以降、家禽で22件、野鳥で12件の報告がある(農林水産省 HP: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/> に基づく)。

日本のトリでの発生状況

(環境省 HP: http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/ に基づく) :

日本では、2014年にはじめて家禽および野鳥から高病原性鳥インフルエンザA(H5N8)ウイルスが検出された。2015年3月以降は現在のところ、家禽および野鳥のいずれからも高病原性鳥インフルエンザA(H5N8)ウイルスは検出されていない。

世界のヒトでの発生状況 :

現在までのところ、高病原性鳥インフルエンザA(H5N8)ウイルスのヒトの感染例は報告がない。